

# 平成16年度 和歌山県文化奨励賞

## えんげきしゅうだん わ か やま 演劇集団和歌山

創 立：昭和45年5月9日

代 表：植田 幸男

所 在 地：和歌山県和歌山市

団 員 数：10名

### ◎業績及び経歴

昭和40年代前半、和歌山県内で演劇運動のセンター的役割が担える、名実共に充実した劇団をつくろうという気運が高まり、当時の「和歌山演劇研究会」や「和歌山大学演劇部」等のメンバーが中心となり、「演劇集団和歌山」が誕生する。

同劇団は、創立以来、今日まで34年間にわたり毎年欠かさず県内各地で公演を続けている。

地道な公演を積み重ね、昭和49年には、第7回県民文化祭に「アンネの日記」（県民文化会館）で初参加し、以来、県民文化祭で「分裂気質」「寝太郎の夢」「バラのいれずみ」等の多くの作品を上演してきた。

昭和50年代半ばには、演劇を志す後継者のための演劇教室を開講し、人材育成にも努めた。

和歌山市和歌浦に「和歌浦小劇場」という活動拠点を有し、古典や現代作家の作品の他、劇団メンバーによるオリジナル作品も数多く演じてきている。「喪失速度」「花いちもんめ」といった社会派リアリズムを追求した作品から、最近では、太地の古式捕鯨を描いた「海王」や和歌山市築地を舞台とした「ジント懐かしシネマの夜」など、和歌山県内に題材を求めた公演も多い。

また、創立30周年を迎えた平成12年には、記念公演として、桃山町荒川の農家を描いた阪中正夫氏の「馬一ファース」を県民文化会館をはじめ、県内数カ所で公演する。

同劇団は、県内で活躍するアマチュア劇団のリーダー的存在であり、他劇団の目標となってい

る。

現在延べ100公演を超え、和歌山県を代表する劇団として活躍中である。

### ■主な表彰歴等

平成12年 アゼリア賞

(社団法人和歌山青年会議所)